

保護者の皆様へ

高浜市立高浜小学校長  
中 川 健 二

平成29年度 全国学力・学習状況調査の状況報告

日頃は、本校の教育諸活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

4月18日(火)に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をまとめました。この結果を、本校児童の教育に生かしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。なお、この調査は6年生を対象にしたものであり、今回は国語、算数の2教科について調べたものです。児童の全ての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

1 本校6年生の特徴や傾向

|       | 「知識」の調査結果   | 「活用」の調査結果   |
|-------|---|---|
| 国語    | <p>○「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。</li> <li>・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。</li> </ul> <p>△「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。</li> </ul>   | <p>○「書くこと」「読むこと」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、引用して書く。</li> <li>・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。</li> </ul> <p>△「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。</li> <li>・話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチのよさを捉える。</li> <li>・自分の考えを広げたり、深めたりするための発言の意図を捉える。</li> </ul> |
| 算数    | <p>○「数と計算」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。</li> <li>・小数の乗法の計算において、乗法を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している。</li> <li>・整数の乗法の計算ができる。</li> <li>・二つの数の最小公倍数を求めることができる。</li> </ul> <p>△「数と計算」「図形」「数量関係」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる。</li> <li>・小数と整数の加法の計算をすることができる。</li> <li>・資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる。</li> </ul> | <p>○「数と計算」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる。</li> </ul> <p>△「数と計算」「数量関係」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる。</li> <li>・割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる。</li> <li>・身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる。</li> </ul>            |
| 質問紙より | <p>○学校や家庭生活で、現状を維持していきたい項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を毎日食べ、毎日同じくらいの時刻に就寝・起床をしている。</li> <li>・学校で、友達と会うのは楽しい。</li> <li>・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。</li> </ul> <p>△学校や家庭生活で、改善が必要な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に「4時間以上テレビやDVD見ている」「4時間以上パソコンや携帯等のゲームをしている」「4時間以上携帯やスマホでの通話やメールをしている」児童が、どの項目も全国より多い。</li> <li>・家で、学校の授業の予習や復習を必ずしている児童が少なく、全くしない児童が多い。</li> </ul>   |   |

2 改善に向けての対応

- ① 落ち着いた授業、基礎的学習内容習得が、学力向上につながります。全校体制で学習規律の指導を継続します。
- ② 授業の中で繰り返し学習する機会を設け、基礎的学習内容のいっそうの定着に取り組みます。
- ③ 算数での少人数指導を継続し、個人個人に合った指導法のさらなる工夫をします。
- ④ 学習した知識定着のための家庭学習習慣を身につけさせるために、自主学習の継続と学習内容の充実に向けた指導を行います。

3 ご家庭へのお願い

規則正しい生活リズムが、学校での落ち着いた生活につながります。また、家庭学習習慣や食生活を含む適切な生活習慣の確立には家庭の支援が欠かせません。学校の方針にご理解を頂き、ご協力くださいますようお願いいたします。